



会報『すえひろ』46号
(平成26年1月号)
10万人の

選 択

はら はちろう

原 八郎

鎌ヶ谷市議会議員
都市・市民生活常任委員会委員長
会派 政友会

原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。
鎌ヶ谷市道野辺本町1-1 1-8 ☎445-3466 <http://hara-hachirou.info/>

今月号の項目

十二月定例議会

- ・議案十七件全て可決
- ・陳情八件、一件採択、他は不採択
- ・子ども医療費助成条例の一部改正
- ・鎌ヶ谷市学校給食センター設置条例の一部を改正 他一四件成立

①十二月議会一般質問

- ・国民健康保険財政の破綻の可能性
- ・都道府県単位の統合できるか
- ・在宅介護と家族の責任
- ・児童遊園に手洗い場の確保

②一年を振り返って

- ・皆様に伝えなかったこと
- ・待機児童0目標の落とし穴
- ・乳幼児子育ての重要性
- ・子宮頸がんワクチンの副作用
- ・延命治療 保険適用外
- ・認知症は予防できる

③第五回グランドゴルフ大会開催

④原八郎のルーツ「歩」三十二回
(殺人事件の検問)

市政報告会のお知らせ

二月一日(土) 十時~十二時
中央公民館 三階 学習室六

どなたでも参加歓迎します。

①十二月議会一般質問

- ・国民健康保険財政の破綻の可能性
- ・都道府県単位の統合できるか

一般会計からの繰入金9億3千万円がなければ破綻。国は都道府県単位の統合を推進だが、公費の投入により財政上の構造的な問題解決が前提条件である。

統合したら、法定外繰入金を認めない方針。保険料は単純平均一世帯当たり年間3万円の増額になる。

現時点での料金改定は無理。統合も無理な状態。このままでは破綻します。個人が医療費の抑制を図るしか、解決策はない。一人当たりの保険給付費は23万5千円。全体で約78億9千万円。

・在宅介護と家族の責任

国は施設不足を補うため自宅介護を推奨しています。このままではいいのでしょうか。先日、大変怖い判決が出ました。

JRから民事賠償が提訴され、720万円の賠償命令が家族に出されました。妻がまどろんだ一瞬のすきに外出してしまっただけです。認知症の本人には責任能力はありません。刑事責任は問えません。家族に民事上の責任が発生します。在宅介護がいかに大変かということです。

こんな時の保険はないでしょうか。個人賠償保険も高齢者には条件があります。各種賠償保険に特約を付け補償されますが、家族と同居していないとダメです。個人賠償保険も六〇歳までに加入しないとけません。継続は七〇歳までです。在宅介護の民事賠償保険があってもいいように思います。家族が責任を負わなければならないことを知っておくべきです。

・児童遊園に手洗い場の確保

一七カ所ある児童遊園には手洗い場は一つもありません。子供を遊ばせに来るお母さんはペットボトルに水を入れ持参します。それで子供の手を洗う状態です。手洗い場の設置を前向きに検討するとの回答を得ました。詳細は市政報告会でお知らせ。

②一年を振り返って
皆様に伝えなかったことを記します

・待機児童0目標の落とし穴
乳幼児・子育ての重要性

来年四月に建て替え保育園が完成、定員が増え、また家庭的保育園(アットホームママ)の新設で待機児童0を目指す。

BS8チャンネルプライムニュースで横浜市長と一緒に出演していた、八王子共励保育園の園長の言葉が大変重いものを感じた。

「幼児は3歳までは親が愛情を持って育てるべきで、預けて人に育ててもらうものではない、と思う。預けられた園児が保育園に望んで来たいと思っているだろうか。乳幼児の心を考えてみるのが、忘れ去られているような気がする。」とのこと。乳幼児自身が望んでいることは何なのかを、もう一度、大人達は考えてみる必要があると、私は思います。

安倍総理大臣が3年間の保育休暇を認めるよう、経済団体に要望しました。もう一歩踏み込んで、法律で義務付けて欲しい。保育休暇を取った人に公的資金で支援をすることが可能ではないか。園児一人当たり、公的支援を年間百三十六万円助成。その範囲内で、助成したら、新しく保育園を造らなくても、待機児童は解消されます。3歳までにしか成長しない脳細胞、眼窩前頭皮質があり、愛情不足が脳細胞の発達の障害となります。感情の



会報『すえひろ』46号
(平成26年1月号)
10万人の

選 択

はら はちろう

原 八郎

鎌ヶ谷市議会議員
都市・市民生活常任委員会委員長
会派 政友会

原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。
鎌ヶ谷市道野辺本町1-11-8 ☎445-3466 <http://hara-hachirou.info/>

コントロールや正しい判断をするのに大変重要な働きをする脳細胞です。「三つ子の魂百まで」の諺の通りです。

大人の都合で、乳幼児を犠牲にしているせんか。「添い寝・だっこ・おんぶ・おっぱい」は乳幼児には大切です。

・子宮頸がんワクチン事故
副作用で全国的に大混乱
ワクチン接種、推奨中止。
安全性評価できず(厚労省)

三年前、子宮頸がんワクチン無料接種開始に当たり、安全性に疑問ありと強く主張し、私人が反対しました。外国で、副作用で、死者まで出ていました。いくつか疑問があり調査研究した結果の反対でした。二・三年様子を見るべきですと主張した。不安が現実となる。

歩行障害や、慢性疼痛など重篤な副作用は三百五十七件。慢性疼痛四十三件、内十一人は寝たきり。ワクチンの副作用の確率。百万人当たり日本脳炎67、ヒブ64、不活性ポリオ24、インフルエンザ8、子宮頸がんワクチンは501件。異常に高い確率。半年以内に三回接種が必要だが、既に一、二回接種した人が今後どうするか、判断に迷って混乱しています。

【疑問一】接種対象が、小学六年から高校一年生の女子なのか。がんに関係するHPVウイルス一五種類のうち二種類しか効果がないとの事。ウイルス感染してから一〇年以上後に前がん症状が現れ、その後五年程して、ガンになるという性質のガンなのです。子宮頸がんの検診を受ければ早期に発見でき、治療も簡単に出来、完治できます。検診が大切なのです。ワクチンを接種した人も検診を受ける必要があります。検診の受診率を欧米並みに上げることに力を入れることが大事であり、女性が検診を受

け易くする為に女性の産婦人科医師の養成や看護師でも検診できるよう制度を改めるべきです。二年ないし三年に一度検診を受ければ子宮頸がんは防げるのです。

【疑問二】薬事審議会にワクチンの承認を求めた場合。承認されるまで、最低五年はかかります。しかし子宮頸がんワクチンは十三か月で承認されてしまいました。これは異常です。当時、マスコミもほとんど取り上げませんでした。女性の国会議員達の勢いに押し切られたのか、実施されました。外国では副作用の問題で議論が活発で、議論白熱でした。私人だけ二・三年様子を見るべきだとし、実施に反対した。案の定、副作用で苦しむ少女が二〇数名出てしまいました。厚労省は勧奨中止のまま放置。

・延命治療 保険適用外

終末期に関する県民調査結果。「望まざるが八割。家族での話し合い、六割が「なし」」。元気で意識のはっきりしているうち、家族で話し合い、書面にして置くべき。延命治療には保険の適用はありません。処置をしようとする、器具を途中で外すことは、殺人罪に問われます。個室に入ると毎月四十五万円程必要。元気な内に家族で話し合います。一時の感情に流され後悔をする人がたくさんいます。

・認知症は予防できます

厚労省発表。去年四百六十二万人、予測を百六十万人も超えた。六五歳以上の十五%が認知症患者。鎌ヶ谷市は千四百五十六人で5.5%が認知症。大変少ない。他市に誇れる数値です。うれしいことです。早めに予防しましょう。遅らせることが出来るのです。「脳トレいきいきサロン」に参加し、予防しましょう。サポーター募集しています。

③第五回グランドゴルフ大会開催

- ・一月三十一日(金) 九時三〇分より。
- ・市制記念公園野球場、参加費五百円。
- ・申込み一月十八日より、定員六十名。

四四五・三四六六 原八郎まで

「歩み」原八郎のルーツ 第三十二回
「殺人事件の検問」

倉本総の「北の国から」で黒板純君が帯広から東京へトラックで上京する場面で、お父さんから手渡された土に汚れた一万円札を握りしめ、涙するシーンは印象的であった。私も二十代の昔、ヒッチハイクで帯広から新潟県長岡市まで牛を輸送中のトラックに乗せてもらったことがある。

フェリーで青森の港に真夜中に着き、日本海側を南下した。港を出て、間もなくラジオで殺人事件が青森市内で起こり、各地で検問中であるとのニュースがあり、「このトラックも止められるかな」と運転手さんと話していたら、案の定検問に引っかかった。

どこに行くのか。助手席の私にも質問があった。帯広から牛を運んで、大阪までゆく途中、帯広から一緒だと、運転手さんが答えて無事通過できた。

犯人はヒッチハイクで逃走中との事でした。「他人を乗せるのも考えもんだな」と冗談を言われ、肩身の狭い思いをした。二時間ほどして犯人が逮捕されたとのニュースがあった。

夜明け頃、長岡に着き、礼を言って下車した。車を乗り継ぎ、高崎、本庄を経て生まれ故郷の埼玉県神川町渡瀬に帰った。

(次号に続く)